

## 放牧酪農による健康な牛づくりと6次産業化の取り組み ～（有）十勝しんむら牧場～

### 経営体の概要

事業実施前：平成18年  
 基幹作物：牧草、乳牛  
 経営面積：70ha  
 飼養頭数：110頭



事業実施後：平成30年  
 基幹作物：牧草、乳牛  
 経営面積：70ha  
 飼養頭数：120頭

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

国営事業により農地が排水不良となるリスクが軽減されたことで、平成21年頃から安定した経営基盤が確立された。併せて、6次産業化を基軸とした酪農経営の一環として、土壌分析や施肥設計に基づく土づくりにより、栄養価の高い粗飼料生産を可能とするとともに、乳製品加工、観光と結びつけた地域を代表する経営体として確立している。

### 営農改善のポイント

#### ①単収・品質の向上

排水改良により、牧草（採草地）の収穫が、平成28年までの3回から4回刈りに変更することで生産量が増加しており、より柔らかく、栄養価の高い飼料生産に取り組んでいる。また、「健康な牛づくりは、いい土づくり」から実践するため、外国専門機関（USA、NZ）による土壌分析や施肥設計に基づく土づくりを行い、栄養価の高い粗飼料生産を実現している。



放牧風景

#### ②省力化の取り組み

1年を通じて搾乳時以外は自由に牧草地に出入りできる牛舎構造でストレスフリーの飼養形態とし、牧草地の半分（35ha）は放牧専用としての利用や、施肥設計に基づく土づくりによって草地更新を行わないなど、省力的な飼養、草地管理体制によって、酪農部門は従事者2人で対応が可能となっている。



放牧地の様子

#### ③6次産業化の取り組み

平成12年に乳製品の製造・販売の開始に当たって、法人化を行い、現在では「ミルクジャム、放牧牛乳」など多数を商品化し、牧場ショールーム「クリームテラス」、帯広のアンテナショップ、通販などで販売している。平成30年には、6次産業化支援事業に認定され、放牧養豚やパノラマテラスなど新事業を展開するなど、観光資源も生み出している。



乳製品「ミルクジャム」

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
 関係市町：北海道河東郡士幌町及び上士幌町  
 受益面積：1,761ha  
 事業期間：平成19年度～平成24年度  
 事業目的：排水改良  
 主要工事：排水路1条6.5km

### 位置図（北海道）



上音更地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部  
 農業振興課 調整係  
 電話：011-709-2311  
 （内線5684）

（平成30年度調査時点）